



介護老人保険施設 ふれあいの里道海

地域の方々との 信頼関係をさらに深めたい

社会福祉法人道海永寿会

理事長 山崎 一幸さん

東北大学の川島隆太教授監修のニンテンドーDSの「脳トレ」シリーズは、一大ブームを巻き起こした。国内で九〇〇万本の大ヒット。今年の夏には3Dを使った新シリーズが発売される予定。「学習療法」の本も出版され、また認知症の方対象のドリルなども広く活用されている。

その川島教授と「学習療法」の共同研究を行ってきたのが、大川市の社会福祉法人道海永寿会である。理事長の山崎一幸さんにお話を伺った。

川島教授と永寿会の出会いは、公文式がきっかけ。永寿会では、公文式の低学年用の教材を使い、認知症の方の機

能改善の試みを続けていた。「加速度的に進行する認知症に、当時は手の打ちようがない状況でした。しかし、脳に刺激を与えたら何か変化が出るのではないか、という直感だけで、明確な方法論もなく、公文式教材を使ってみましたね。ただ、しばらくして学習者に明らかに変化が見られるようになったんです。」

その後、十年ほどして、公文式の事務局の紹介で、当時障害児の研究をしていた、東北大学川島教授と出会うことになる。こうして川島教授の研究フィールドとして、永寿会は科学的に「学習療法」に取り組むようになった。数千



万円の予算が付く、国家プロジェクトである。

認知症のお年寄りに一日に二十分、「4+3」と言った簡単な計算、童話の読み書きをしても良かった。こうした試みが、脳内の赤外線反射や磁場の測定により、強く脳を活性化させることが確認された。認知症の周辺症状が改善していった。落ち着きが出て、短期記憶が改善していった。また、おむつが不要になったり、家族とのコミュニケーションがとれるようになった。そして笑顔が全く出なかった方々が、

ド